

4 . 事業を取り巻く社会状況

(1) 周辺道路の交通状況

野尻 IC 関連事業周辺には多くの観光資源が点在していることから、混雑度は 1 . 0 を超え、野尻湖入口交差点では従前から交通渋滞が発生しています。

上町地区の未供用部分においては、人家が連担している地区で、歩道幅員が狭く道路幅員が狭隘であり、降雪時には、堆雪帯がないことから歩道に雪が堆雪されて歩行者には危険な状況となっています。また、縦断勾配が最大 6 % の区間があり、大型車が多く混入する地域であることから、降雪時の除雪作業における安全性や快適性を確保する必要があります。

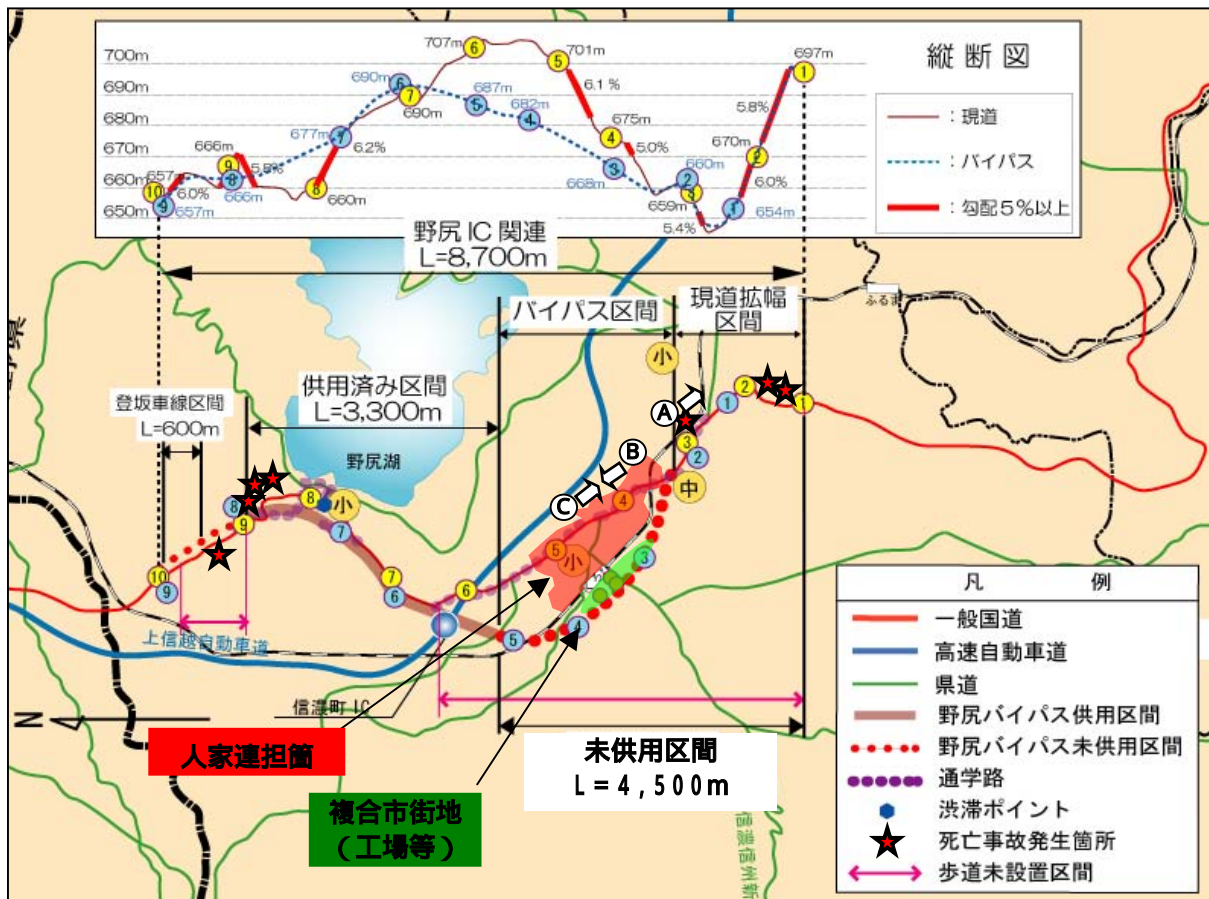


写真 A 線形不良箇所



写真 B 歩道の状況



写真 C 除雪状況

国道18号周辺には4つの小中学校が点在しており、通学路の一部として指定されています。未供用部分においては、十分な歩道が整備されていない箇所を通学路として利用している状況となっています。野尻IC関連事業の整備により、良好な歩行空間が確保されること、また、交通がバイパスに移行することで、通学路の安全性が確保されます。



写真A 通学状況

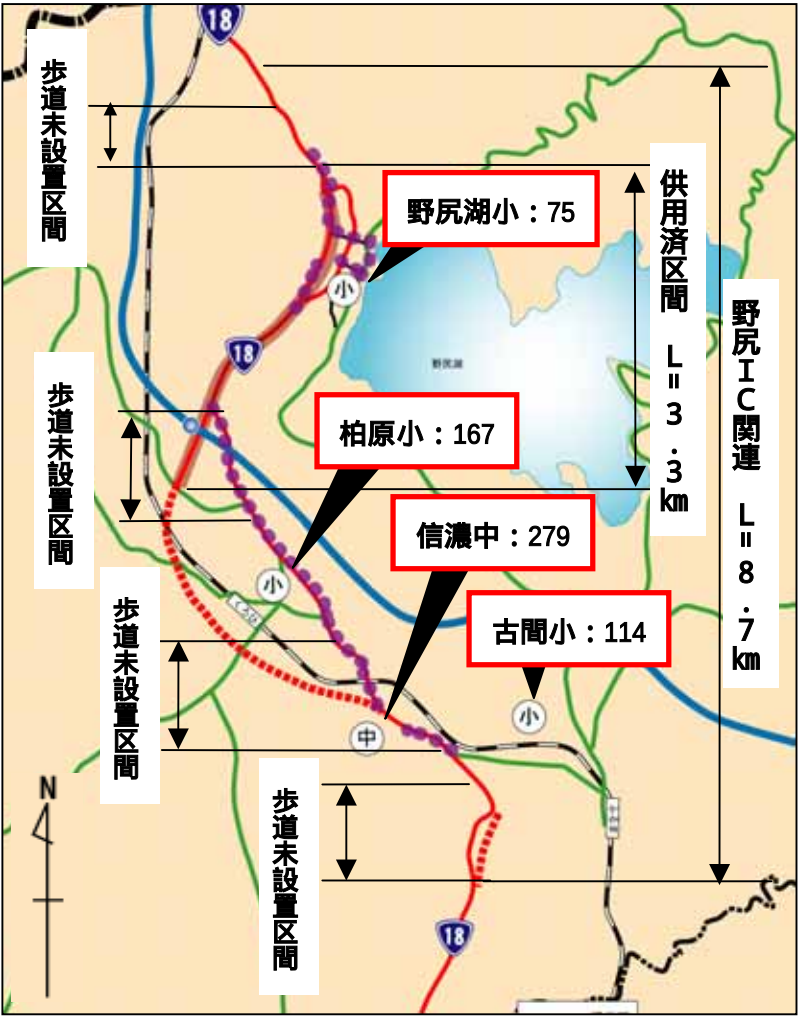
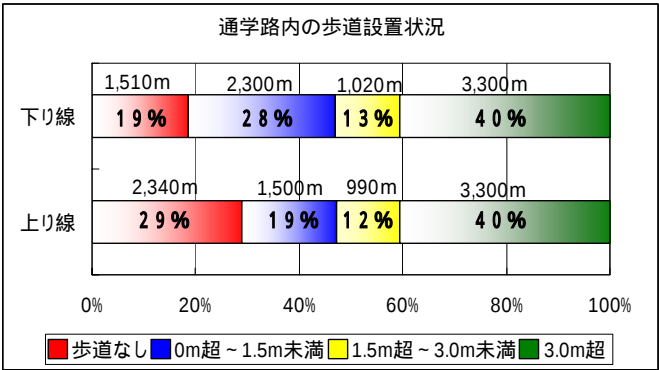
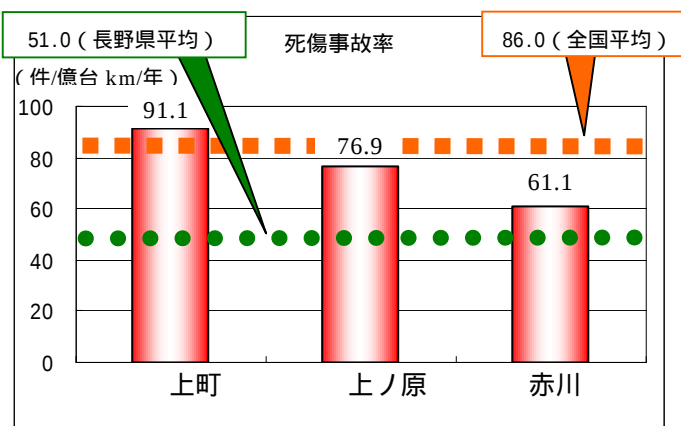
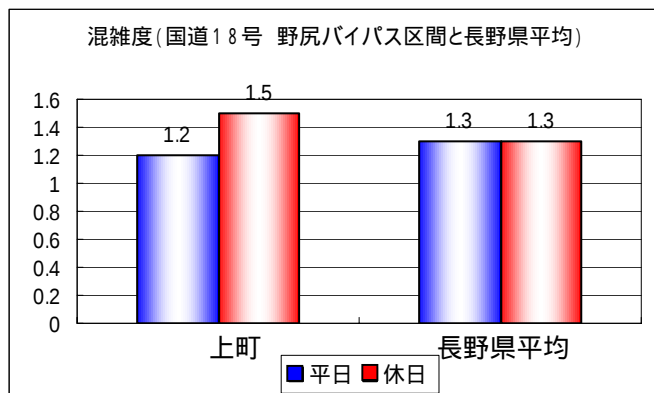
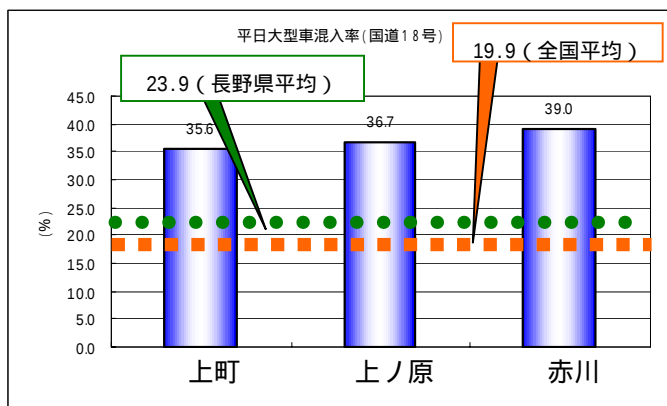
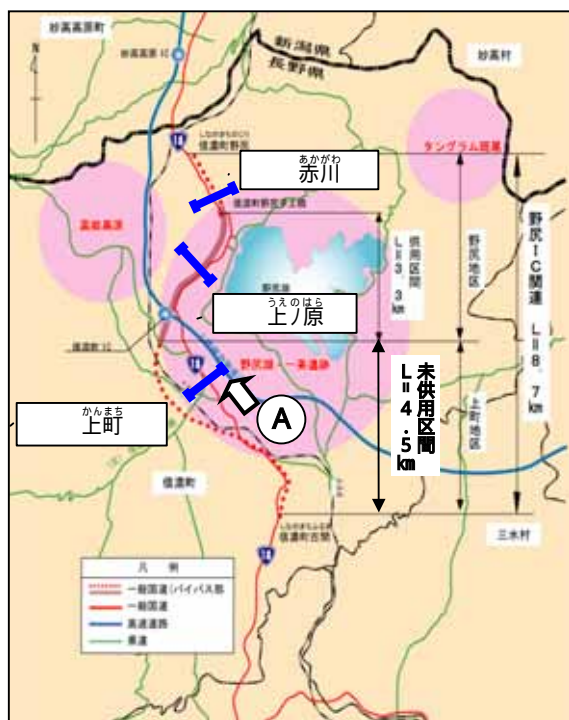


図 通学路の状況と児童数

大型車混入率においては、長野県内平均値を大きく上回っています。さらに未供用部分は歩道が狭いため、歩行者には危険な状況となっています。



資料) H11 道路交通センサス



写真A 国道18号信濃町上町付近
しなのまちかんまち

(2) 周辺地域の状況

また、周辺地域には工場等の立地がみられ野尻 IC 関連事業の整備により、物流の効率化が期待されます。



写真 A 周辺地域の立地状況(製錬会社)



写真 B 周辺地域の立地状況(電気通信会社) 写真 C 周辺地域の立地状況(黒姫森林事務所)

